

令和6年度 ジェンダー平等推進啓発ポスターコンクール 入賞作品

優秀賞 11点

小学生低学年の部



和歌山市立楠見東小学校
3年 小池 愛怜

大きいもじを書くのがむずかしかった。スカートのかけがむずかしかった。ふくの色をつくるのがむずかしかった。

小学生高学年の部



和歌山市立松江小学校
5年 杖村 優妃

男も女もみんな平等に。

中学生の部



和歌山県立桐蔭中学校
3年 坂本 瑞姫

ジェンダー平等と聞いて、制服がジェンダーレス制服になり、多様性が認められた事が一番に頭に浮かんだ。自分で選んで、自分の道を歩く彼・彼女はカッコイイと思い、真っ直ぐ遠くを見つめる姿を描きました。



田辺市立高雄中学校
1年 浅山 陽菜乃

性別は関係なく、自分の色でかかっている人を見てきました。この作品を見てくださった人にも、自分の色でかかいて、それを広めて、社会の人達みんなが自分の色でかかいてもらえるとうれしいです。



那智勝浦町立那智中学校
2年 潮崎 彩愛

男女平等をあらわすために天秤を描きました。後ろの背景を分割しました。



田辺市立高雄中学校
1年 寛座 晴士郎

円を一度かいてから、上から小さい丸を線棒でスタンプのように押ししました。スタンプするときの力加減がとてむずしかったです。文字のわくからはみ出ないように、色をぬるときに集中しました。

高校生の部



和歌山市立和歌山高等学校
2年 巴山 華音

男性の人と女性の人と一緒に家事をしている構図にすることで男性、女性どちらも同じことができる、性別で役割は決まらないということを表しています。男性と女性の区別はないという自分のテーマから、『男でしょ？女でしょ？』だからなんだろう？もうやめよう。』というキャッチコピーにしました。



和歌山市立和歌山高等学校
2年 屋成 陽斗

大学への進学率が男女で差があったり、『男だから理系』だとか『女だから文系』などの先入観、イメージを取り払って胸を張って進学できたらいいなと思った。



和歌山市立和歌山高等学校
2年 堀尾 来菜

中心が男子と女子にしっかりと分かれていて、そこから崩れていくのは人の考え方の変化をイメージして作りました。真ん中や中心以外の人を紫にしたり、文字を白にしたのは、紫や白は性別に囚われない色だったからです。水色側は子育て問題や性別について、ピンク側は女性の仕事問題について表しています。



和歌山市立和歌山高等学校
2年 松本 和也

パパ抜きでカードを捨てるという場面を職を選ぶという場面を想像し、女性のほうが仕事という項目で見ると多少不利な面があるということを知ったので、もっといろいろな職が選べるようになればと思います。



和歌山市立和歌山高等学校
2年 松尾 華蓮

風船が縛られずに風に流れる様子で自由を表した。カラフルにして色々な色があるから性別関係なく自分の好きな色を選んでいいということを考えてデザインした。